



愛 知 県
板 金 工 業 組 合

名古屋昭和区
北山町 3-8-6
電話 732-1226
発行 広報委員会

新春を祝い

恒例の新年会開く！

今年は東三支部の担当で準備、渥美湾が一望できる蒲郡の「ふきぬき観光ホテル」に於て、一月二十一日(日)開催した。

メーカーの代表者など来賓を含め総勢134名、

二階の日当たりの良い大広間の宴席に着き、正午東三支部の二村氏の司会で開会されました。

東三支部長の近藤氏による歓迎の挨拶があり続いて平野理事長の

挨拶の中で、二十一世紀は情報社会であるから、コンピュータ・ファックス等で素早く

知り社会状況を見逃さないよう一生懸命働んで下さいと述べられた。

その後、来賓で出席された国会議員の三治重信氏による国会の動きについての話があり、

又衆議院の解散がある事を述べられました。

続いて片岡氏の代理として御婦人が挨拶されました。

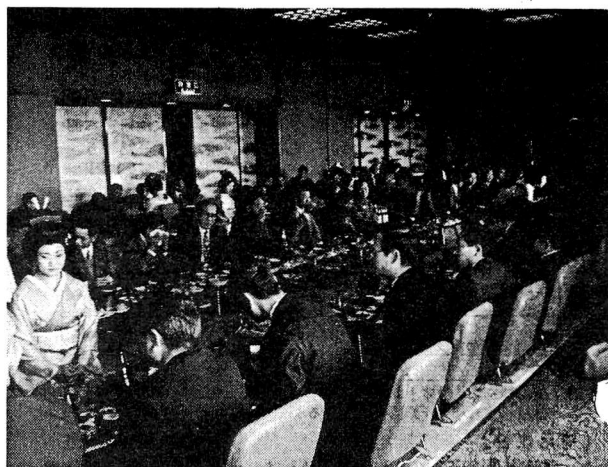
青木問屋会長の音頭で乾杯をし宴席に移った。

宴を盛り上げてくれるフィリピンショーが始まりにぎやかにコンパニオン達とダンスやカラオケ等で和気あい

あいと楽しいひと時を過ごしました。

村上氏の閉会の言葉で午後二時半過ぎに解散となりました。

東三 協坂



第11回 全板連青年部

技能競技会県予選開く

第11回全国板金青年部技能競技大会愛知県予選が、岡崎地域職業訓練センターにおいて1月14日(日)行われた。参加者12名の内、

1位 小山高広(東三)
2位 松本富夫(知多)

の両君が2月18日の青森県全国大会に出場することになりました。当日は良い作品ができますように、お祈り申し上げます。

豊田 松井

第42回 全国板金業者大会参加について

大会の日程と県板コースが決まりました。参加ご希望の方は、各地区の支部長さんまで申込んで下さい。

● 全国板金業者大会

平成2年5月16日 新潟県上越市（リージョンプラザ上越 ☎0255-44-2122）

● 県板コース

期 日 平成2年5月16日(水)～18日(金) 2泊3日

集合場所 名古屋空港 — 全日空カウンター前

午前8時00分（時間厳守）

旅 程 <交通事情等により多少コースの変更がありましたら御了承下さい>

期日	行 程
1 5/16 (水)	名古屋空港 全日空 311 便 → 新潟空港 — 上越市内（食） — 9:00 9:50 10:00 12:00 リージョンプラザ上越に於いてく全板大会参加 — 岩室温泉（泊） 13:00 16:00 17:20
2 5/17 (木)	岩室温泉 — 新潟港 ジェットフォイル 両津港 — 小木（食）（たらい船） — 尾畑酒造 — 8:30 9:40 10:00 11:00 11:10 12:40 13:50 14:40 15:00 朱鷺の郷 — 真野御陵 — 妙宣寺 — 相川（泊） 15:05 15:40 15:45 16:00 16:10 16:30 17:10
3 5/18 (金)	相川 — 七浦海岸 — 尖閣湾揚島遊園 — 佐渡金山 — 大佐渡スカイライン — 白雲荘（食） — 8:30 8:40 9:00 9:25 10:05 10:20 11:00 11:50 12:50 陶芸苑 — 両津港 ジェットフォイル 新潟港 — 新潟空港 全日空 314 便 → 名古屋空港 13:20 13:40 14:00 14:30 15:30 15:40 16:20 17:50 18:50

参加費用 1人当り 93,000円（旅行費89,000円＋大会参加費4,000円）

申込期日 平成2年3月16日までに、各支部長へ申込んで下さい。

平成2年度2級建築施工管理技術検定試験について

- ☐ 受験申込受付期間 平成2年7月27日(金)～8月10日(金)
☐ 受 験 日 平成2年10月21日(日)
☐ 試 験 地 名古屋
☐ 受験申込書類送付先 (財)建設業振興基金 試験研究本部
 〒105 東京都港区虎ノ門1-25-5
 第34森ビル ☎03-502-6131

学 歴	実 務 経 験 年 数	
	指定学科	指定学科以外
大 学 (旧大学の卒業生)	卒業後1年以上	卒業後1年6ヶ月以上
短期大学・5年制高等専門学校 (旧専門学校の卒業生)	卒業後2年以上	卒業後3年以上
高 等 学 校 (旧中等学校卒業生)	卒業後3年以上	卒業後4年6ヶ月以上
そ の 他 の 者	8 年 以 上	

注) 受験種別が「躯体」または「仕上げ」の場合、職業能力開発促進法による技能検定合格者(該当職種に限る)は、上記にかかわらず受験できます。

〔補足説明〕

1. 建築施工管理に関する実務経験とは、現場施工・施工管理・総合管理・設計監理・施工監督に従事した経験をいい、研究所・学校・訓練所等における研究・教育及び指導等は認められません。なお、2級は受験種別に対応し、下記のような工事に従事した上記作業内容をいいます。

受験種別が、

<建築>

主として建築一式工事・大工(一式)工事をいいます。

<躯体>

主として大工(型枠)工事、とび・土工・コンクリート工事、ブロック工事、鋼構造物工事及び鉄筋工事など建築躯体に係る工事をいいます。

<仕上げ>

主として大工(造作)工事、左官工事、石工事、屋根工事、タイル・れんが工事、板金工事、ガラス工事、塗装工事、防水工事、熱絶縁工事、内装仕上工事及び建具工事など建築仕上げに係る工事をいいます。

2. 指定学科とは、建設省令で定めている学科(建築学科・土木工学科・森林土木学科・鉱山土木学科・砂防学科・治山学科・農業土木学科・緑地学科・造園学科・都市工学科・衛生工学科・電気工学科・機械工学科)をいいます。

※ この試験は建設業法第27条による技術検定制度に基づき

(財)建設業振興基金が実施します。

受験の手続きは受験予定者各自にて必ず行って下さい。

受験準備講習会のご案内

主催 建築施工管理技術研究会

〒162 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3-4(生泉市ヶ谷ビル)

TEL 03-268-8751 FAX 03-267-2552

● 平成2年度2級建築施工管理技術検定試験(建築、躯体、仕上げ)に備えての勉強会です。

(受験の申込みは別途各自が必ず行なって下さい。)

● 2 級 3日間コース
第1日 9:30～16:30
第2日 9:00～16:00
第3日 9:00～16:00

● 講習地 名古屋市 千代田ビル(9F)

講習日 10月5日(金)～10月7日(日)

受講料 25,800円(消費税込) 但し講入指定図書代は別

● 教 材

購入指定図書	① 建築施工管理技術テキスト〔改訂第2版〕 定価5,000円 送料600円
	② 2級建築施工管理技術検定試験問題解説集録版 昭和60年～平成元年度('90版) 定価3,400円 送料500円
	※ 上記①・②2点セット 図書代8,400円 送料800円
無給償教材	③ 2級講義・学習参考資料
	④ 2級特選問題

※ 上記購入図書代は消費税込の価格です。

● 講習会受講希望の方は、県板事務局(FAX 052-732-1733)

へお知らせ下さい。受講案内書をお送り致します。

支部だより

平成2年度総会開催

江南支部

暖冬の新年一月五日

午前十時から、江南市高屋町の料亭「増屋」において平成初の総会及び新年宴会を県板の平野理事長を来賓にお招きして開催しました。

総会は、副支部長今井氏の開会のことばに続き、石田支部長の挨拶で始まった。年頭の挨拶をほころばしげにされた支部長でしたが、その影には重大な今年度の議題があり、何か重苦しくみえた。それは他の支部でも議題になるとありますが、組合費値上げであり、毎年度年次繰越金が減少するなか、又消費税導入の折り役員が頭を痛めることばかりの様であり「今年こそは」の支部長のことばで議事に入った。

- 第一議案 平成一年度 仮事業報告 仮会計報告
- 第二議案 平成二年度 事業計画案 予算案
- と続き、割とスムーズに経過し
- 第三議案 難題の会費

の件に入った。

1「会費値上げ」

2「旅行を二年に一回」

3「総会を旅行と兼ねる」

という案の他にも会員の増員案及び事業特別会費の案も出て、苦闘の末「会費値上げ」を決め、「総会を年度前に旅行と兼ねて」と決定し、会員の増員も積極的に取り組んで行く事となり、一件落着、重苦しい議事も終わり、席も和らいできた。頃平野理事長さんの来賓祝辞があり、我々業種に対しての「力強い」ことばと「充実した組合作りを」との励ましの祝辞で閉会となった。

そして午後からは、新年宴会となりお酒もすすみはろ酔いの中、役員さん一人一人の笑顔が特に目に映り和気あいあいにして新年宴会を終わりました。

菱川



新年会開く

東三支部

一月七日、「ホテル竹島」に於て午後六時より開催されました。

県板から平野理事長始め商社等総勢六十名が広間の席に着いた。

松下氏の司会で、先ず定例会を行い組合長・近藤氏の挨拶の中で平成二年度は昨年より更に組合員の皆さんによる情報交換をし、二十一世紀に向けて頑張っ

て下さると意気込みのある挨拶でした。次に平野理事長よりお言葉を頂きました。続いて福山氏の音頭

で宴に入りました。宴がたけなわになるにつれ、今年始めて青年部の人が隠し芸をやってくれ宴を一層盛り上げてくれました。

始めてのことでありましたが今後も企画をされ多数の参加をお願いします。

理事長も負けじとカラオケで歌っておられました。又、各商社の人達を囲んで今年の業界の在り方等話しあっているうちに、午後九時頃閉会となりました。

東三 協坂



職業訓練展に参加して！

一宮支部

第32回職業訓練展尾張会場が一宮地域職業訓練センターにおいて

1月27日午前10時より午後4時までと28日午前10時より午後3時まで開催された。

参加訓練校は、公共の6訓練施設と認定施設7校・学院があり、科目は建築・板金・溶接配管・ブロック・左官・美容・服飾・デザイン・情報経理・機械・自動車整備・電気機器・陶磁器製造・パン菓子製造・表具・タイル施工・洋服・造園・洋裁・電子計算機・和裁・写真科と多種多様にわたっていた。

この目的は県内の公共職業訓練施設及び認定職業訓練実施事業所団体の訓練生の実習作品の発表をすることにより、県民の皆さんに職業訓練に関する関心を高めてもらうと開催されたもので、行事の内容は、職業訓練事業の紹介(各種パネル、参考作品等の展示、来場者による体験・訓練生による訓練実演)である。

又、主な体験・実演コーナーは

- ショートケーキの製作工程実演・体験
- 練り切りの製作工程実演・体験
- レリーフ・家紋打出
- パソコン実演(相性性格診断・ゲーム)
- モザイクタイル教室
- ゴキブリだんご作り実演
- 病人介助(ねまき交換)の体験 等であった。

年々来場者も増え、



今回は約四千人と主催者からの発表があった。当組合関連では愛板協会の技能専門校が参加し、体験・実演コーナーのレリーフに私が参加させていただいた。協会の役員の方々は日頃、学校の運営に訓練生の指導に、又こうした催しにと惜しみない協力をしていて同業者として頭が下がる思いがした。

職人時代から、豊かな時代に移り将来は金ゆとりより心のゆとりの方が大切な時代になるのではないだろうか。

忘年会開催／昭和支部

県板・名古屋プロック昭和支部では、県板平野理事長を迎えて12月7日午後6時より南知多町内海の第二魚友で忘年会を開催した。

毎年春か秋に一泊の懇親旅行を行うことになってはいるが、今年が実行することができなかったため、忘年会を泊まりでゆっくり温泉につかり、心ゆくまで飲み語り合おうと企画した。

支部組合員は17名であるが、仕事の都合などで4名が欠席した。今年はこの第二魚友に50度の温泉が湧き

でて、人気があり連日満員でこの時期に開催できたのはラッキーであったと思う。当日は何人かが車に乗り合わせて内海へ集まった。理事長の挨拶に続き乾杯をして宴会に移った。男ばかりでは華やかさも色気もないので、素適なコンパニオン3名に花を添えてもらい、にぎやかに楽しんだ。宴会の後二代目の若い組合員は夜の更けるのも忘れマージャンに興じていた。朝食の後現地解散した。

尚片岡武衆議院議員より祝電をいただいた。



東三支部 研修旅行

平成2年1月18日、春日井市厨房機器の株式会社カワグチ工場、犬山の建築板金機械入野製作所、県板事務所の予定で朝8時過ぎ組合事務所を出発して、東名で春日井市へと向った。



11時頃、カワグチ工場へ着き待合室でコーヒーを頂き社長より会社内容・設備等説明があり、工場内の見学の後レストランで昼食、社長を交えて話し合いました。1時過ぎに今度は犬山の入野製作所へ、2時過ぎに到着、早速機械の見学をして社長から説明を受け、自分達が使っている機械という事もあり詳しく聞いていました。

その後4時頃県板事務所へ着き、理事長と早川専務氏が出迎えてくれました。はじめの人もいる為組合の組織について専務の早川氏より説明があり、夕食をとりながらこれから組合の生き方又申し出等を話し合いました。5時半過ぎ事務所を出、バスで帰路に着き豊橋へと向いました。



東三 脇坂

技能検定伝達式

平成1年度技能検定伝達式が、昨年12月17日豊田産業会館に於て西三河地区伝達式が行われました。

一級10名、二級3名が合格され、新しく技能士になりました。

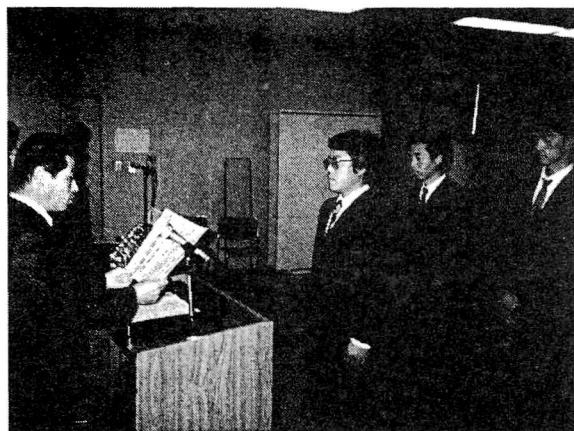
来賓には西三技能士会会長石原氏、杉浦氏、学科講師の金沢先生の出席をいただき、5時30分より豊田の西俣氏

の司会で合格者に各組合長さんより手渡されました。

この後立食パーティが開かれ、役員、合格者共楽しく過ごしました。

合格者の皆さん、今後共一級・二級ともに技能士として恥じる事なく、勉学・仕事に励んで下さい。

岡崎 中村



物故者法要を営む

昨年11月12日、当支部は市内片町にある浄光寺に於いて物故者の法要を営みました。

津島支部

10時30分に門前に集合し、御住職様の読教に合わせ支度員それぞれが、今は亡き人々の御冥福を祈りました。当日は天気も良く天上に召された人々も雲の間より私達を見守っていて下さる様に感じられ、今は亡き諸先輩の遺産を受け継いだ我々の責任の重さを感じます。法要の行われた浄光寺は日月山と号し、慶長年間よりこの地にある浄土真宗大谷派の寺であり、寺内には明治天皇佐屋行在所が移築されています。現在庫裏の新築工事中で何かとあわただしい雰囲気でしたが、御住職の読教が始まると境内は静けさに包まれて、それらが今は亡き人々への思いに浸っている様でした。

法要の終わった後、我々は市内萩原町にある河満へ移り会食をしました。河満は組合員である早川重寿さんの弟さんが経営されている日本料理店で、津島地域では名も味も評判のお店です。我々は柴田組合長を中心にして、料理に舌鼓を打ち杯を交しながら歓談しました。

津島 水谷

新年会開催！

昭和支部



昭和支部では、平成2年の新年会を1月9日に毎月例会を開いている滝子の『そば亭・清水庵』で15名が出席して開いた。私が会計を預るようになってから13回目の新年会である。当時を振り返ると、理事長・柴田嘉市氏、昭和支部長・荒川栄造氏、総代長・長山清晴氏、支部組合員12名で私が最年少であった。荒川さんはじめ高尾さん長山さん福井さん加藤千詞氏に随分可愛がってもらった。現在福井さんは健在であるが他の方は皆さん故人となられた。会合は荒畑から郡道を少し南に入った菊寿司で、毎月8日に会合を開いていた。会費は当時から四千円で寿司とビール一本で千八百円使い、県板賦課金五百円残り千七百円を積み立てていた。長老が多く正月は新年会、4月は花見夏秋に旅行をして12月に忘年会と飲む機会をたくさんもった。中でも大変だったのは花見で満開の頃朝8時からゴザを持って鶴

舞公園へ場所取りに行き、夕方には菊寿司で割り子弁当を作ってもらい鶴舞公園の桜の木の下で宴会を開いた。又忘年会は長老の皆さんが行きつけの飲み屋（今池のメトロとか女子大小路にあった大統領と言ったキャバレー）の御馴染みの女の娘をコンパニオンとして菊寿司へ呼んで、そこで宴会を済ませてから何人かを同伴してその娘のお店に入ることになっていた。私が独立して店を持ったのが昭和44年5月20日、すぐに昭和支部に加入して20年が過ぎた。13年間総代を務めてくれたのも良き先輩達に支えられていたからだと思う。大変だった事もあったが楽しい思い出で一杯である。最近では二代目さんも多くなり若返った昭和支部です。

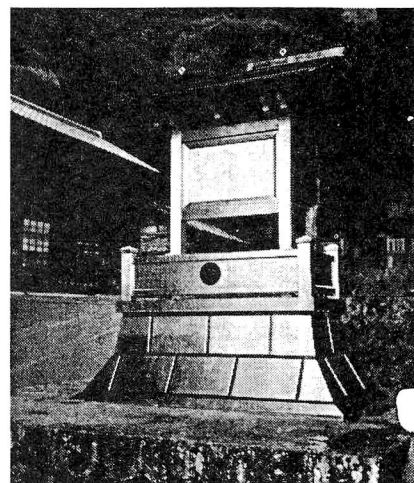
驚見

「社誌館奉納」

岡崎・清水 功

昨年12月、前岡崎板金組合長・清水功さんのヌカタ製作所に総ステンレス製のすごい物があると連絡を受け、取材に出かけました。これは清水さんの近所、額田町塚山の須賀神社に奉納する為3年掛りて製作されました。

社誌館（鎮座地・由緒など銘記）は、縦14メートル、横22メートル、高さ3メートルの素晴らしきものでした。一般の神社



では、木・石等で出来ていますが職業柄ステンレスで作られる事になり、近郷、近在、名古屋等下調べがされ、設計・製作されました。屋根はファインカラーゴールドが使用されて黄金色がまぶしく輝いています。12月22日には、須賀神社において清水さん夫妻他多勢出席され、盛大に除幕式入魂式が挙行されました。

清水さんも『思う様には出来ず細工も今一步の所、ゴールドの屋根も何年光り輝く事か』と心配されてみえましたが、特殊な治具等が使用されており、ヌカタ製作所の総力が結集されていると思えました。

板金工としては是非一度見られる事をお勧め致します。

岡崎 中村



能力開発協会表彰

東三支部

先日の職業訓練大会で、長年訓練事業に携わったということで表彰され感謝致しております。

私が初めて訓練生の前に立ったのは、今から10年余り前の事です。当初、私自身職業訓練校というものについて全く認識がなく、その上板金職業訓練校だった為、そこで一体何を教えたらいのだからか、又どんな内容のものかをどういう方法で教えたらいのか、大変戸惑いました。ただ過去に機械製図や少しばかりの金属材料や力学の基礎知識があったので「よし、それじゃあこれらを基にしてやってみよう。」と決心しました。私は、前々から「教える事は学ぶ事である」という事を信条にして、学生達を教えて来たので、初めて見る展開図に対しても興味を持ち向ってきました。そして知らず知らずの内に古稀を超える年令となつてしまいました。近頃時々巷で「先生」と声を掛けられ「あー

君は、誰々君だったなあ」と過ぎ去りし日を懐かしく思い出させてくれる若い親方から、職人さんまであつて今までどれだけの訓練生を手塩に掛けて来たか、定かでないが、こうして温かく声を掛けてくれる人がいる事は現在の私にとって大変嬉しい事なのです。近頃は年令のせいか学ぶ事よりも忘れる方が多く、新しい事を追求めようという意欲もあつたが、いたづらに馬令を重ねることだけが本意ではないので、努力は惜しまない様にと心掛けています。

表彰者

中村 茂一様
宮井 宏様
平松 良之様
福山 健一様
皆さまおめでとう

東三 中村



テレビドラマを見て

毎日の新聞紙上での交通事故の記事を何気なく他人事と思って読んでいた。信号無視で歩行者をはね重傷を負わせた。暴走車がパトカーに追跡され電柱に衝突し即死等々。安全運転をしなければ起らなかったと思われる事故が多発している。

1月8日放映されたテレビドラマ「女・交通刑務所」は内容の濃い心打つものだった。ストーリーは田村亮・沢田亜矢子演じる夫婦と子ども2人、事件はお盆休みに田舎の実家へ里帰りした時に起こる。和やかな夕食中に電話のベル、夫は市役所土木課勤務、河川決壊、すぐに帰る様に連絡を受ける。タクシィを呼ぶがなかなか来ないので、飲酒運転を承知で妻が駅迄送る。帰り道交差点で青年をはね、青年は植物人間となり妻は逮捕される。被害者の賠償の為自宅を処分し、無一文になり昔のアパート住いに戻る。検察庁出頭命令裁判の結果、交通刑務所へ6ヶ月入所し、辛い日々を送る。一時は離婚も決意したが、幼い子ども2人のことを思いとどまった。やがて刑期を終え出所し、家族4人で今まで通りの生活を続けていくというドラマを見て考えさせられた。たかがドラマの作り話とも思うが、これが自分自身のことだったらと思うと「ゾーッ」とした。



話は変わって、我々中川・港板金組合の組合員同志の交流は、応援し合い互いのメリツトとなっている。月末の食事会には当然酒も入るので申し合わせた場所へはタクシィを利用し集合し、親睦を深めている。

県板金組合の皆さん我々は仲間との付き合いで酒を飲む機会が多いと思いますが、飲むならタクシィを合言葉に、我が愛知県交通安全亡事故ワースト記録返上に努め、よりよい社会に貢献しようではありませんか。

中川・港 福田

安全活動の充実

「自分達の命は自分達で守る」

昨今の世界経済は目まぐるしい変化と貿易収支のアンバランスにより、円安・ドル高の中で不安定な要素が含まれつつ、国会の解散総選挙と目まぐるしく動く世情の中で好景気とは言うもののどこまで続く事が計り知れない。

我々を取り巻く環境は実に厳しく、人手不足と高齢化に伴い高齢者に依存しなければならぬ現実、若年労働者の確保の難しさ、外国人労働者の受け入れに対する賛否両論、今後はどう対応し解決して行くかに業界が問われるところであると思う。

さて好景気の中で先ず問われるのは、人命尊重・安全確保すなわち労働災害の防止で、事故を起してはいけないという事である。

参考にして(未確認)県内では昨年12月1日現在、死亡災害は全産業を通じて110名にも及び前年比では15名増となっているとの由、関係省庁はこの様な件

数を重大災害と解し撲滅運動を展開し、指導強化を図る指針である。「安全なくして企業の繁栄はない」



元気がなければ、自分では守れない。安全活動が大切。



作業主任者は与えられた職務をしっかりと行おう。



新入業者の教育も大切。安全活動が大切。

作業安全の基本的な事を述べてみると

チェックポイント1 (良いか)

安全帽・安全帯・作業に可能な足廻り(現場により安全靴着用)服装等の点検

元請との作業指示書による確認書(後日の為書類に)又作業からの要望等を記録、安全上の遵守事項の確認。第三者行為に對し対策は充分か、飛来落下、安全帯の使用可否、開口部の処置はなされているか、材料の滑り止めは良いか、風速はチェック済みか等極めて細かい配慮が必要ではないか。

チェックポイント3 事業主は工事現場の責任者を選定し安全作業に對して部下の指導を周知徹底させる事

TBMミーティングにより(作業前の打合)一、現状把握 二、本質追究 三、対策樹立 四、目標設定

これは危険のポイントだ

三、対策樹立 あなたならどうする

四、目標設定 私達はどう実行する

以上のKYに基づいて設定が出来たなら、検討した内容を責任者は末端に至るまで周知させる事に意義がある。何回も繰り返す内に慣れれば2、3分位でミーティングを済ませる事が出来る。

尚これらのことを行

う職長さんは、指定の安全講習を受けられると都合ではないかと思う。又大手以外のゼネコンと取引されている会員の方で、ゼネコンが安全面の配慮や感心もなく一方的に施工業者に依存しているケースも多々あると思いますが、積極的に申し出をし、対応して頂ける様要望される事が得策ではないでしょうか。

災害は忘れた頃にやってくると言われている。第39回衆議院選が公示された。

今回は自民党の過半数確保が、与野党逆転か、90年代展望のカギをにぎる攻防に内外から注目される選挙になりそう。

昨秋の参議院選では与野党逆転が実現したがその原因となった数は力で導入した公約違反の消費税・金権政治そのもののリクルート事件など、与党には逆風が続き、苦しい選挙戦になる様相である。

国政を司どる政党にと

編集後記

来る2月3日には、第39回衆議院選が公示された。

今回は自民党の過半数確保が、与野党逆転か、90年代展望のカギをにぎる攻防に内外から注目される選挙になりそう。

昨秋の参議院選では与野党逆転が実現したがその原因となった数は力で導入した公約違反の消費税・金権政治そのもののリクルート事件など、与党には逆風が続き、苦しい選挙戦になる様相である。

国政を司どる政党にと



足場の確保からの手すり付けは、安全活動の第一。



皆さん今年は組合員共々安全作業等に徹し、無事故災害で平成2年を乗り切ろうではありませんか。

沼澤

つて安定多数は必要不可欠な問題である。しかし与野党の数の差が大きくなり過ぎると一党独裁・強行採決などが行われやすくなる。したがって各政党が党利党略の政策でなく、本心で国民のための政治を競うには、与野党伯仲の形が望ましいと思う。

五一二名の国政を担当する人達を選ぶに当り、各自一票の権利を有効に行使したいものである。

一月三十日 (火) 晴

二六六号 編集会議

委員 七名出席

午後五時終了 (S)